

佐藤勇 雑感

20年9月2日更新

由利本荘市政

平成20年9月定例議会、19年度決算概要報告

※数字は分かり易くするため概算、端数は切り上げ切り捨て。

| | |
|-----------|-------|
| 一般会計 | 534億円 |
| 特別会計 | 288億円 |
| 企業会計・水道事業 | 21億円 |
| ガス事業 | 14億円 |

19年度決算額の合計のあらまし 857 円となります。

| | |
|-------------------|---------|
| 自主財源比率 26%で市税が | 約 85 億円 |
| 依存財源比率 74%で地方交付税が | 188 億円 |
| 19年度に借金した金額 | 87 億円 |
| 19年度に返済した借入金 | 83億5千万円 |

これまで溜まった借金累積額 一般会計分 777億円

特別会計分 506億円

合計累積市債（借金残高） = 1,283億円

因みに、由利本荘市の19年度の

標準財政規模は287億4千万円です。

実質公債費比率 = 自治体に標準的に入ってくる税金や地方交付税等のうち何パーセントが借金の返済に使われたかを示す値です。～18年度決算で18.3%を超え今後起債（借金をする）には県知事の許可が必要となりました。19年度決算では、19.6%となりました。

しかしながら財政状況を示すゲージは色々あります、人間の体の健康も一つの数値だけで良し悪しは言えないと同じであり、たまたまこの数値が高いということであり借金を返済した割合が大きということ、これだけで財政状況が悪いと言うものでもありませんが。

ただこの数字が一定以上① 35%を超えると災害関連以外は借金が出来なくなります② 25%～35%未満は一部の起債が出来なくなる③ 18%～25%は起債に国の許可必要（由利本荘市が③に該当）、借金返済以外自由に使えるお金が少なくなっていくということになります。

家庭で考えたら借金の返済の為に、車の更新や便利な電化製品などが自由に買うお金が無いと言う事になります。

◎今回、本荘市旧由利組合病院跡地に建設予定の文化複合施設について一言

【基本設計方針の策定から実施設計に至るまで】

基本設計を中心に据え、その他すべての条件を勘案しながら、美観・機能性・耐久性・安全性・経済性・施工性などの観点から建築・設備の各要素について検討を加え、実施設計に挑む方針を総合的に検討するべきであります。

建物だけで60億円は高すぎる、例えば単体で4～5棟の建物

を合算しても建築費が上物だけで60億円という事は無いのではないかと。

イ・実施設計前に本市の18年度決算に於いて連結決算の実質公債費比率が18.3%が明らかになったのだから、当然基本設計での見直しを図るべきものでありました。

19年度決算以降も数年は必ず19%を超える値が続くと断言します。

無駄のない効率的、経済性機能性のある設計に見直す事が必要であります。いくら総合施設といっても建物だけで60億円というのはあまりにも建築費が高くないか。

造るなと言うのではありません、この地域に見合った身の丈にあった高率的なシンプルな機能性のある使いやすいコンパクトなもので良いと思います、言葉ではコンパクトシティと言っておりますがやることは100万都市のような区画整理に130億円も投入するなど周辺住民生活との乖離は否めないであります。

少子高齢化が加速、人口減少全国一、高齢化率28.5%、

職場が無い等々地域の課題多く・芸術文化だけでは人々の生活を潤す事は出来ません。

本荘の歴史資料館には正職員がおりません、むしろこのような柔らかい部分の充実こそが全市民の求めるところだと思います。

私はこのことに関して常にも常に発言一般質問をしてきましたが理解を得られなかったものです。

職員しかり、議員の中にも、このように考える方が本当にいないのでしょうかいつも疑問に思います。

建築事業費があまりにも多額な事も問題でもあります。

□・文化複合施設のプロセスについて、工事費はどの位か、途中原油高の影響で鉄骨資材その他副資材の値上がりに当局は敏感にどう対応したか、特殊な大きな建設であり施工業者をどうするのか、**専門の特別検討委員会(議会立ち上げの)**は内容をどうとらえてこの財政事情にどのような意見や助言対応をしたのか、行政提案・設計屋の言う通り、説明を聞くだけ、単なる行政の説明を聞く行政お助けマンであっては

ならない、議会全体で意見や質問をする機会の少ないのがこの由利本荘市議会・市の不足な点だろう。(何かそれについて委員会を起ち上げると行政がやりやすいようにしていただくが検討委員会の任務と勘違いしているのではと思わざるをえない)面倒な事に対してはすぐ検討委員会を組織するのはいかなものか、議員が等しく議論する機会を逸するものと思う。

議員30人を代表する重大な責任と義務がある、由利本荘市の恒久の平和と由利本荘市民の生活安定優先の為必要最小限度の機能を持った建物にして経費の節減に努めなければならない・その努力指導助言や意見の様子が伝わってこない。

建物の中を割った、空洞のワイワイストリートなどは無用とおもう、東京の新美術館も調査してきたが、人口がよけいで普段人が集まる場所なら予算が許せば、文化の向上です否定出来ないと思いますが、**本市は標準財政規模の3～4倍もの借金を背負っての仕事です。因みに北海道の夕張市は標**

準財政規模の8倍でした。

駅を往来する人口も減少している中で、駅前活性化と銘打って巨大な建築物を建立しての維持管理がなかなか大変だと思います。本庁舎をそこに移転とかであれば話はまた変わっていた面もあるかと思いますが、大変なお荷物にならないように高度利用を祈念し、文化の発展を期したいと思います。由利高原鉄道存続乗車率アップのため、職員の時間差出勤やダイヤの一部変更などを計画している事は賞賛すべき。